

2019年度 上期決算の概況

2019年12月5日（木）
株式会社パイオラックス
（コード：5988）
代表取締役専務 永峯 道男

1. Fy19上期 業績サマリー

【上期実績】

- * 今期は5大Riskを捉え、前年比・減収減益予想でスタート。
しかし、地域全体に広がる需要減少を受け予想比でも減収減益に悪化。
- * セグメント別では、全地域で前年比減収減益、特に中国・欧米地域での減速影響が大きい。
- * 国内は今期予想比では増収増益堅守（連結2Q進捗率は44～50%）
- * 5大Riskは一部で好転、為替影響は軽微（円高,1%未満）
- * 持分法適用関連会社“佐賀鉄工所8月被災”による特損処理影響分は営業外に織り込み
- * 通期業績予想は維持（内部努力、拠点業績反転等）

【下期計画】

- * 上期改善施策の継続、下期計画の完遂、
- * “G-Up”（5億円）改善計画追加、3Q見極め

★5大Risk

- ・日産殿減産
- ・原材料高騰
- ・労務費高騰
- ・米中貿易摩擦
- ・Brexit影響

2. Fy19-2Q 連結業績

- 減収減益ながら予想に至近（予想売上：326億円、同営利：38億円）
- 予想比減は主に海外拠点減収減益影響大、為替円高影響小

（単位：百万円）

	Fy19-2Q	Fy18-2Q	増減額 (増減率)	2Q/年度計 画進捗率
売上高	31,934	34,596	-2,662 -7.7%	48.4%
営業利益	3,644	5,281	-1,637 -31.0%	45.6%
経常利益	3,992	5,799	-1,807 -31.2%	44.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,129	4,333	-1,204 -27.8%	50.5%
1株四半期 利益(円)	¥87.36	¥121.01	-¥33.65	

※為替影響は
P9でご説明

3. Fy19-2Q 販売先内訳

■ 中国ローカル・マツダ・トヨタ・いすゞが2桁率増 (Ford区分変更影響有)

(単位：百万円)

	非日系	Fy19-2Q		Fy18-2Q		増減	
		販売金額	構成%	販売金額	構成%	販売金額	伸び%
1 日産圏		12,926	40.5%	14,963	43.3%	-2,037	-13.6%
2 ホンダ圏		6,748	21.1%	6,892	19.9%	-144	-2.1%
3 マツダ圏		1,633	5.1%	1,428	4.1%	205	14.4%
4 トヨタ圏		1,379	4.3%	1,194	3.5%	185	15.5%
5 スバル圏		879	2.8%	975	2.8%	-96	-9.8%
6 GM圏	*	830	2.6%	1,023	3.0%	-193	-18.9%
7 フォード圏	*	798	2.5%	500	1.4%	298	59.6%
8 現代自圏	*	790	2.5%	897	2.6%	-107	-11.9%
9 三菱圏		679	2.1%	716	2.1%	-37	-5.2%
10 スズキ圏		448	1.4%	496	1.4%	-48	-9.7%
11 中国ローカル圏	*	442	1.4%	374	1.1%	68	18.2%
12 ルノー圏	*	417	1.3%	717	2.1%	-300	-41.8%
13 いすゞ圏		286	0.9%	256	0.7%	30	11.7%
14 FCA圏	*	215	0.7%	240	0.7%	-25	-10.4%
15 その他		1,087	3.4%	1,562	4.5%	-475	-30.4%
自動車計		29,564	92.6%	32,242	93.2%	-2,678	-8.3%
16 その他		217	0.7%	200	0.6%	17	8.5%
17 医療機器		2,152	6.7%	2,154	6.2%	-2	-0.1%
合計		31,934		34,596		-2,662	-7.7%
非日系集計	*	3,492	10.9%	3,751	10.8%	-259	-6.9%

4. 事業別サマリー（自動車等・医療）

【売上高】		今2Q累	差異率
Seg.	前期①	実績②	②/①
自動車等	32,442	29,782	92% -2,660
医療	2,154	2,152	100% -2



売上分析 （○自動車、●医療）	
○減収→日産圏▲2,037、ルノー圏▲300	
○増収→中国地場、マツダ、トヨタ&いすゞ	
●償還価格及び仕切り価格 各引下げ対抗	
●前年実績と同レベルは維持	

下期計画
○原低交渉、費用回収（材料）、●新商品上市

【営業利益】		今2Q累	差異率
Seg.	前期①	実績②	②/①
自動車等	5,603	4,041	72% -1,562
医療	142	122	86% -20



営業利益分析 （○自動車、●医療）	
○減収影響	
○樹脂材高騰→安定傾向	
○自動化・省人化進展	
○●全Gr参加での業績改善活動開始（G-Up）	

下期計画
○●経費圧縮、合理化、設備投資完遂等

5. 地域別サマリー（日本）

内部取引を
含む合算値

【売上高】		今2Q累	差異率
Seg.	前期①	実績②	②/①
日本	21,777	20,595	95% -1,182

【営業利益】		今2Q累	差異率
Seg.	前期①	実績②	②/①
日本	2,259	1,267	56% -992

売上分析（自動車）

- 減産 日産▲14%他
- 拠点向け輸出減

下期計画

- 原低交渉、費用回収（材料）

営業利益分析（自動車）

- 単体、国内子会社とも減益
- 減益 単体▲49%（国内子会社▲30%）

下期計画

- 全Gr参加での業績改善活動開始（G-Up）
- 労務費対策（省人化）

6. 地域別サマリー (欧米)

内部取引を
含む合算値

【売上高】

Seg.	売上高		差異率
	前期①	実績②	②/①
北米	8,288	7,424	90% -864
欧州	2,137	1,467	69% -670

【営業利益】

Seg.	営業利益		差異率
	前期①	実績②	②/①
北米	761	752	99% -9
欧州	269	145	54% -124

売上分析

(○北米、●欧州)

- (米生産) 主減産→日産▲8%、Big-3 ▲3.3%
 - (墨生産) 全需▲2%、日産▲5%
 - 主減産→日産▲24%、ホンダ▲15%
- Juke4ヶ月前倒し生産終了

下期計画

- GMストライキ影響の挽回
- 客先計画の下方修正に留意

営業利益分析

(○北米、●欧州)

- 米中関税増分回収
- ● 労務費対策 (省人化)
- 材料費、労務費等製造コスト増

下期計画

- ● 全Gr参加での業績改善活動開始 (G-Up)
- 米 新建屋稼働開始 (2019-20)
- ● 労務費対策 (省人化)

7. 地域別サマリー (アジア)

内部取引を
含む合算値

【売上高】			差異率
Seg.	前期①	実績②	②/①
アジア	11,261	9,981	89% -1,280

売上分析 (○中国、●その他)
○減少の8割が中国起因 (為替差損2割含)
○全需減 (国内販売12ヶ月連続減)
○環境規制品 (国6) 対応遅れ、弊社拠点向輸出減
○ローカル系は売上拡大 (+18%)
●タイ、韓国、インドネシア、インド共減産影響

下期計画
○●客先計画の下方修正に留意

【営業利益】			差異率
Seg.	前期①	実績②	②/①
アジア	1,504	880	59% -624
		インド拠点 のみ赤字	

営業利益分析 (○中国、●その他)
○減少の8割が中国起因 (為替差損は微小)
○●限界利益減、材料費、労務費上昇
○人員削減 (▲22%)、TPM活動実施で挽回

下期計画
○●全Gr参加での業績改善活動開始 (G-Up)
○●労務費対策継続 (省人化)

8. Fy19-2Q 為替影響

■ US \$ は円安、中国元は円高、全体でマイナス側影響

	1	2	3	4	5	6	7	8
	中国元	£	Won	ルピー	ルピア	US \$	Baht	ペソ
対前期	円高					円安		
前期	17.01	148.92	0.1003	1.6	0.0078	108.51	3.41	5.71
今期	16.22	142.37	0.0960	1.55	0.0077	109.98	3.49	5.72
差異	-0.79	-6.55	-0.0043	-0.0500	-0.0001	1.47	0.08	0.01
	-4.6%	-4.4%	-4.3%	-3.1%	-1.3%	1.4%	2.3%	0.2%

影響額(百万円)

売上高	-410	132	-278
営業利益	-31	14	-17

9. Fy19 通期連結業績 & 配当予想

- 全Gr.での合理化/改善活動、客先交渉（材料・関税・原低）
- 3Q以降、海外拠点業績の回復予想（アジア地域）

連結業績

(単位：百万円)

	Fy19予想	Fy18	増減額
売上高	66,000	68,298	-2,298 -3.4%
営業利益	8,000 12.1%	9,312	-1,312 -14.1%
経常利益	9,000 13.6%	10,321	-1,321 -12.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,200 9.4%	7,421	-1,221 -16.5%
1株四半期 利益(円)	¥173.11	¥207.22	¥-34.11

配当

(単位：円)

		Fy19	Fy18
中間	実績	¥22.5	¥22.5
期末	実績	-	¥22.5
	予想	¥22.5	
年間	実績	-	¥45.0
	予想	¥45.0	
連結 配当 性向	実績	-	21.7%
	予想	26.0%	

資料 サマリー情報 (連結)

単位：百万円（%、円を除く）

	年間			2Q	
	'18/3	'19/3	'20/3(予)	'19/3(2Q)	'20/3(2Q)
売上高 Net sales	67,876	68,298	66,000	34,596	31,934
営業利益 Operating income	10,220	9,312	8,000	5,281	3,644
営業利益率 %	15.1	13.6	12.1	15.3	11.4
経常利益 Ordinary income	10,987	10,321	9,000	5,799	3,992
経常利益率 %	16.2	15.1	13.6	16.8	12.5
親会社株式に帰属する当期純利益 Net income attributable to owners of PIOLAX Inc.	8,126	7,421	6,200	4,333	3,129
親会社株式に帰属する当期純利益率 %	12.0	10.9	9.4	12.5	9.8
1株当たり配当金 円 Annual dividends per share	(※) 45.00	45.00	45.00	22.50	22.50
配当性向 % Payout ratio	19.8	21.7	26.0	—	—
為替換算レート US \$ (期中平均) FX rate (average)	112.07	110.37	105.00	108.51	109.98
総資産 Total assets	99,140	102,155	—	102,155	102,332
純資産 Net assets	87,154	90,500	—	90,500	91,884
自己資本利益率 % ROE	9.9	8.5	—	—	—
自己資本比率 % Equity capital ratio	86.5	87.3	—	87.3	88.5
1株当たり当期純利益 円 EPS	(※) 226.91	207.22	173.11	121.01	87.36
1株当たり純資産 円 BPS	(※) 2,394.31	2,489.00	—	—	—
減価償却費 Depreciation expense	3,917	3,898	4,200	1,800	1,860
設備投資額 Capital investment	3,503	5,068	5,500	1,900	2,080
キャッシュ・フロー(増減) Cash flow	2,228	1,242	—	315	-1,022

(※) 2017年4月1日を効力発生日とした株式分割(普通株式1株を3株に分割)後の値に調整しております。

END

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が2019年度第2四半期決算発表時点において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。